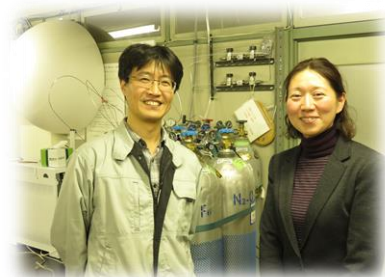


南極授業でお話しいたします

近ごろ南極の話題が多くなる中で、実は南極ゆかりの方が身近にもいらっしゃる事がわかりました。そのおひとりが、宮城教育大学で理科教育講座を担当されている菅原敏教授です。

菅原先生は、平成15年、第45次南極観測隊に参加され、二酸化炭素やメタンなど、温室効果気体の観測をなさっていました。先日、菅原先生の研究室にお邪魔し、南極での写真や映像を見せていただきました。長さ100mにも及ぶ巨大な気球を、高度30kmの上空に飛ばして高所の気体を採取するところ、海氷の上に落下させた観測機材を回収するところなど、とても興味深いお話しに、思わず『おーっ！』と歓声を上げてしまいました。さらに、国際的に信頼されるような精度の高い観測データを得るために、必要な手順がある事や、南極での行事なども教えていただきました。

菅原先生には、来年2月10日(金)昭和基地からの中継の前に、南極での御経験をふまえた講演を皆さんにしていただきます。この『南極通信』にも記事をご載せくださる予定ですので、楽しみにしていただいね。



宮城教育大学の菅原研究室。研究に必要な気体が入ったガスボンベや、天球型のスクリーンなどがありました。

あったかい壮行式、ありがとうございました！

11月22日の生徒総会の様子を見させていただき、これまでの活動の成果と、これからの附属中生の更なる活躍を確信することができました。その後は心温まる素晴らしい壮行式までしていただき、本当にありがとうございました。みなさんがくれた励ましの言葉、元気な歌声、そして輝く笑顔はしっかりと胸に刻まれましたので、きっとこの先の私の力になってくれるはずです。慣れない生活や初めての任務には当然不安もありますが、それより何より、目の前に現れる景色や未知なる出来事が、自分にはどう映るのか？それを伝えたら皆さんがどんな顔をするだろうか？と想像してドキドキしてしまいます。

今思うのは、ここまで応援していただいた事への感謝と、自分は一人ではないという勇気です。南極通信の第1号に書いた『みんなで作る・みんなで学ぶ・みんなで楽しむ』のコンセプトを大切に、これからも皆さんと一緒に、たくさんの素敵な宝物をこの通信で共有していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、南極へ行ってみます！！



生徒総会の終了後に、生徒代表が花束を贈りました。濱中先生から、3つのこととお話いただきました。3年生からは、エールが贈られ、アーチを抜けて南極に向かわれました。